

平成26年10月21日
石川県健民運動推進本部
(県民交流課内)
076-225-1366(内線3894)
下 沢

第43回ふるさとのツバメ総調査作品コンクール
「感想文の部」「記録・観察作品の部」被表彰者決定について

1 作品の募集目的、表彰について

健民運動推進本部では、自然を大切にする心や、自然と人間の関わりについて考えを深めることを目的として、児童がツバメ調査を実施する際に、心に残ったことや理解したこと
の「感想文」や写真などの「記録・観察作品」を募集し、応募作品の中から特に秀でたものを表彰することとしている。

2 作品募集期間

平成26年5月17日～6月27日

3 応募総数

記録・観察作品の部	19校	(前年12校)
感想文の部	40校	739点 (前年25校 569点)

4 被表彰者

○ 記録・観察作品の部

最優秀賞	白山市立松任小学校	ツバメのお宿地図と新聞
優秀賞	津幡町立津幡小学校	ツバメ新聞
佳作	加賀市立山代小学校	ツバメのお宿地図

○ 感想文の部

最優秀賞	穴水町立向洋小学校	6年	なかやま ひろと 中山 紘斗
優秀賞	金沢市立額小学校	6年	はちすか みき 蜂須賀 美妃
優秀賞	白山市立松任小学校	6年	おおたけ なつき 大竹 菜月
優秀賞	志賀町立加茂小学校	6年	さかい りお 酒井 梨緒
優秀賞	穴水町立向洋小学校	6年	はまなか ひろみ 浜中 優実
佳作	珠洲市立若山小学校	6年	きた ゆいか 北 唯花
佳作	志賀町立加茂小学校	6年	しんめい あや 新明 愛綾
佳作	穴水町立向洋小学校	6年	もろ しゅんたろう 諸 駿 太朗
佳作	穴水町立向洋小学校	6年	みややち みづき 宮谷内 美月希
佳作	能登町立松波小学校	5年	おはら みさと 小原 未郷

5 表彰式

期 日 平成26年11月16日(日) 11時～12時
場 所 県庁行政庁舎 19階 展望ロビー

6 展示会 日時 平成26年11月12日～11月24日
午前10時～午後8時
場所 県庁19階展望ロビー
展示 入選作品を展示

<参考> 第43回ふるさとのツバメ総調査について

5月の愛鳥週間(5月10日～16日)に県内全公立小学校の6年生を中心とする、
約12,120人の児童がツバメ調査を行った。

1 記録・観察作品の部

最優秀賞 白山市立松任小学校「ツバメのお宿地図と新聞」



優秀賞 津幡町立津幡小学校「ツバメ新聞」



佳作 加賀市立山代小学校「ツバメのお宿地図」



2 感想文の部

最優秀賞 1点

ツバメ調査

穴水町立向洋小学校 6年 中山 紘斗

ぼくは、ツバメ調査をして、ぼくの地域の人達は本当にツバメを歓迎していて、心配してくれて、心からツバメを愛しているんだなと思いました。

去年ツバメが来ていた家の方は、「去年は来ていたのに今年は来てないね、残念だな」と、ツバメが来てくれればいいのになというように言っていました。ほかには、カラスにツバメの巣がやられてしまっていた家の方は「カラスに、やられてかわいそうだね。この家には、もう戻ってこないかもしれない、悲しいな」と、言ってツバメのことを心から心配してくれていたのが調査隊員のぼくも、ここに毎年、巣を作っていたのに、カラスなんかからねられるなんてぼくからしたら、大切に何年も使っていた家をいきなり壊されたような気持ちになりました。それと反対にツバメが毎年来ていて、今年も家の中に巣がある家の方は、「毎年来てくれていて、本当にうれしいよ。また来年も来てほしいな」と言っていました。その家は、納屋の扉の上に、ツバメが通れるくらいを開けて、ツバメだけが出入りできるようにしていました。

そして、その家では、納屋で2匹の犬を飼っているにもかかわらず、ツバメが巣を作っていました。犬がいることで、ネコなどから守ってくれているという安心感をツバメにもたらしめているからだと思われました。

最後に、ぼくはツバメがとても好きです。小さくて赤と黒という色がかわいいからです。これからは、日本中の人達というよりも世界中の人達にツバメのことを好きになってほしいなと心から思います。ツバメ調査は本当にいいことだし、すばらしい石川県の伝統になっていけばいいなと思われました。

優秀賞 4点

ツバメ調査をした感想

金沢市立額小学校 6年 蜂須賀 美妃

私は今までツバメをあまり見たことがなかったので、今回のツバメ調査はとてもワクワクしていました。ツバメは、山に近い家に多かったように思います。今まで意識していなかったのですが、私の町にもこんなにツバメがいることに驚きました。たくさんツバメがこの町にいてくれるということは、ツバメにとって住みやすいのかなと思うと、とてもうれしく思います。このあたりは、田んぼも多く自然がたくさんあり、エサも多いからツバメが来るのかなと思われました。それでも、お母さんは「昔はこのあたりにはツバメがたくさんいたよ」と言っていたので、昔に比べて減っているのか、それも調べたいと思いました。

一軒、一軒の家を回っていくと、4軒の家で巣を見つけました。ほとんどの人がツバメのことを「歓迎する」と言っていて、「こうやって巣を作っていて感心だね」とツバメが来るのをうれしそうにしている人もいました。ある家の巣には、ヒナとお母さんツバメがいました。お母さんツバメは、遠くからエサを運んでいて、順番にヒナたちにエサをあげていて、とても大変だなと思われました。ヒナたちも大きな口を開けていてかわいかったです。早くヒナが無事に大きく育ててほしいと思いました。

私はテレビでしかこういう姿を見たことがなかったので、直接見ることができて、とても感動しました。

このように一生懸命生きるツバメたちの巣を見守ってくれている地域の人たちに、感謝したいと思います。私の家にもツバメが来てくれるといいなと思いました。

ツバメを守る

白山市立松任小学校 6年 大竹 菜月

私は世界のいろいろなツバメを見てみたいです。世界には約50～80種類のツバメがいるそうです。私の家の近くで見たツバメは、のどの赤いかわいいツバメでした。もしかすると、他の国にも色や形の違うかわいいツバメがふつうに飛んでいるかもしれないと思うと、そんな景色も素敵だろうと思ったのです。

先日、学校でツバメ調査をしました。内容はツバメの特徴、巣の数、親鳥やヒナの数などです。私の住んでいる地域では、昔に比べて巣やツバメの数がずいぶん減っていると聞きました。

ツバメは渡り鳥です。東南アジアが越冬地で、春になると日本に飛来し、巣を作り子育てします。ツバメの減少は、昔の日本家屋、巣の作りやすい場所が減少していること、農地や自然の減少によりエサが減ってきていること、地球温暖化など、環境の変化によると言われています。世界のツバメを調べてみると、きれいな青いツバメ、目がくりくりと大きなツバメなどいろいろなツバメがいましたが、ツバメの減少は日本だけでなく、フランスでも記事になっていました。私が調査したツバメの巣のある家の人は、巣の下にカサのハンモックを作ってフンがおちないようにして 人間が過ごしやすくすると同時に、ヒナがおちても助かるように気を付けたり、カラスの対策をして、ツバメの子育てを見守っていました。

環境を変化させてきたのは人間かもしれませんが、いま、近くで子育てしているツバメを大切に守ってくれる人間もいるので、そういう人が世界にたくさん増えたら、ツバメももっと増えるかもしれないなあとと思いました。

ツバメへの思い

志賀町立加茂小学校 6年 酒井 梨緒

私はツバメが好きではありません。どうしてかというと、下にフンを落とし、きたなくしていくからです。ツバメ調査を始めると、歓迎しているという家が多くありました。おじさんがそのわけを説明してくれました。

「ツバメはフンを落としていったりするけど、有益なこともしてくれるから歓迎しとるんやよ」。

と、笑顔で話して下さいました。私はツバメが有益なことをしていると知りツバメへの見方が変わりました。

「ツバメが来ると、もう春が来たんだなと思います」と、話して下さい方もいました。春が来たと感じる人もいるんだなと思いました。ツバメは人の役に立っているんだなと思いました。中にはツバメは大切なので、カラスやヘビから守るために、ネットをつけたり布みたいな物を納屋の入り口の上につけたりしてカラスよけをしている人もいました。みんな、ツバメを大事にしているんだなと思いました。

反対にツバメを歓迎していない人は、私の最初の気持ちと同じ、フンが落され、きたないから歓迎していないのかなと思います。

ツバメは自然が少ないところにはあまりやってこないの、加茂にやって来るということは、自然が多いあかしなのだと思います。

この調査のあと、私は少しツバメを歓迎する気持ちに変わりました。これからも、春になるとツバメがやって来て巣を作ってくれるような豊かな自然と心のやさしい人が多いところにしていきたいです。

私は、沖波の立戸ノ浜を調査しました。ツバメの成鳥数0、現在使っている巣の数0で、古巣は10個という結果でした。調べ終えた後、調査票を見ると、悲しくなりました。でも、ツバメ学習会で、「0という数字があっても、それは悪い0ではなく、良い0なんだよ。なぜかという、一生けんめい調査した0だからだよ」。と言っていたのを思い出すと、少し元気になりました。その0が1にでも2にでもなるように、私たちがツバメに協力して行ってあげようと思いました。

地域の人たちは、私が話を聞きに行くと、どの人もうれしそうにツバメについて話をしてくれました。私は地域の人たちの話を聞いていて、一番心に残った話があります。ある日、おじいさんの家のなやにツバメの巣ができました。その巣の下に長靴がおいてあって、その長靴の中にツバメの子どもが落ちてしまいました。そのことを知らずに長靴をはいたら子どもが死んでしまった。という話です。それがきっかけで次の年からツバメがこなくなったそうです。どちらが悪いわけではないけど、おじいさんも母ツバメも、とてもショックだったと思います。

地域の人たちは、私が話を聞き終えた後に、「ごくろうさま」「がんばってね」と声をかけてくれました。私は、その一言ひとことにはげまされ、「よし、次もがんばろう。」と思えました。

このツバメ調査で、地域の人々のやさしさにふれることができ、ツバメについてもたくさん知ることができました。この先、調査をしていく人たちにも、ツバメのことだけでなく、地域の人々の思いも感じとってほしいです。

佳作 5点

ツバメ調査

珠洲市立若山小学校 6年 北 唯花

今日、弟とおじいちゃんといっしょに、ツバメ調査に行きました。まず、神社の近くの、うらのさんの家に行きました。玄関の中に、使っている巣が1個、古巣が3～4個ありました。使っている巣は、もとは古巣だったと聞きました。わたしは、ええっと思いました。いつもは新しい巣を作るのに、今年はなぜか古巣を使っていると聞きました。不思議だなあと思います。ツバメもエコ活動をしているのかなと考えました。うらのさんと話をしていると、使っている巣から、ツバメがひょいっと顔を出しました。びっくりしました。そのツバメは、なかなか巣からでませんでした。たまごを温めているしぐさのようでした。次に、大きなバス停の近くのかんばやしさんの家に行きました。やっぱり巣がたくさんありました。使っている巣が7つもありました。その1つから、ヒナが顔を出していました。おおっと感激しました。たまごを温めている？ツバメもいました。たまごを産めるほど、ツバメが住みやすく安心して子育てができる環境になったのかなと思いました。それから、もう1～2軒回りましたが、どれも古巣ばかりでした。でも、地域のみなさんは、いろいろ工夫していました。カラスがはいるないように、ツバメが通れるぐらいのすき間にしたり、巣を作りやすいように板がつけてあったりしていました。でも、ツバメを入れたいけど、カラスが入ってきて、巣やたまごをとっていくという声もありました。しかし、地域のみなさんのツバメに対する愛は負けていません!! ツバメは大歓迎という声もあがっています。ツバメのお宿シールをもらうとうれしいと言う人もいます。なので、私たちが目指す環境は、ツバメなどの動物たちが住みやすい環境も入るのではと私は思います。これからは、もっとツバメ・ツバメの巣が増えるようにがんばっていきたいです。そして、全部の家とまではいきませんが、多くの家がツバメたちを歓迎してくれるといいなと思います。

わたしは、授業でツバメ調査をしました。去年は、みんな「ツバメは歓迎しています」。と言っていたので今年もそうなんだろうなと思いました。

調査をしていくと、やっぱりみんなが「ツバメは歓迎しているよ」。と言っていました。でも、その後

「なんでツバメを歓迎しとるかっていうとな、フンを落とすけど、虫を食ってくれるから歓迎しとるし、ツバメは幸せを運んでくれるし、ツバメを子どもやと思っとるからや」。と言ってくれました。わたしはなんで歓迎しているかまでは知らなかったのでびっくりしました。巣の中にあったタマゴのからがすごく小さかったの、こんなに小さいんだなと思いました。さわらせてもらったら、やわらかいので不思議だなと思ったので今度調べたいなと思いました。細川さんの家に行くと、カラスなどが入ってこないように小窓しかあけていませんでした。わたしは、ツバメがおそわれたりしないように工夫をしているのですばらしいなと思いました。細川さんの家だけでツバメの巣が34個もあったのですごくびっくりしました。夜中に、ヘビなどが巣のあるところに入ってくると、ツバメが家の人を呼ぶときもあると言っていたのでツバメってすごいなと思いました。

わたしはツバメ調査を通してびっくりしたこともあったし、ツバメのことが色々分かってきました。もっと知りたいことも出てきたので、ツバメのことについて本やインターネットで調べたいなと思いました。

ツバメ調査での発見

穴水町立向洋小学校 6年 諸 駿太郎

ツバメ調査でぼくは、地域の人がツバメをどう思っているか知りました。使われている巣は4個、古巣が25個ありました。去年は、使われている巣が7個、古巣が22個でした。去年と比べて使われている巣が減っていることが分かりました。

古巣はあるのに、新しい巣がない家が3軒ありました。平成17年のシールが貼ってあった家に新しいツバメの巣がありました。約9年もツバメが来ていなかったと分かりました。これは、ツバメ調査をしなければ気づけなかったことだと分かりました。

毎年ツバメが来ている人の家に行きました。納屋の戸は、全開になっていました。ツバメへの愛情が伝わりました。

ちがう家では、納屋の戸を少し開けてその後ろに木の板があててありました。ネコやヘビ、カラスが入れなくて、ツバメだけが入れるようになっていました。その家の人に話を聞いたら不思議な話をしてくれました。ヒナが生まれて、成鳥になったら電線に止まって鳴くそうです。その家的人是「南の国に行つて来ます」。と言っているように聞こえるそうです。ツバメは、かしこくて、ちゃんと感謝をしているんだなと分かりました。

まだ、子育てをしていたので、早く成鳥になって南の国へ無事に行つてほしいと思います。そして、来年はまた元気なたくさんツバメが来てほしいです。

ツバメ調査をして

穴水町立向洋小学校 6年 宮谷内 美月希

5月10日、ツバメ調査をしました。ツバメ学習会で学んだことを生かして調査をしたいなと思いました。

調査を始めて五分くらい過ぎて空を見てみると、ツバメがたくさん飛んでいました。電線にも何羽か止まっていた。わたしは、スズメよりツバメの方が多いい感じがしました。このツバメたちも去年どこに巣を作ったか覚えて帰ってきたんだなと思いました。止まっているツバメが多かったので今年は増えているかなと思ったり、逆に、減っているかもと思いながら見ていると、車庫の中にツバメが入ってくるのが見えたのでその車庫を見てみるとツバメが巣でタマゴをあたためている様子が見えました。静かに観察して、その家の人にインタビューをしました。すると「毎年、来てくれてうれしいわ。元気に巣立ってほしい」。と言っていました。次に車庫にたくさんフンが落ちていたので、その上を見ると、親鳥2羽がいました。おどろかせないように少し遠くから見ました。また、その人にインタビューしてみると、「毎年巣を作ってくれて

とてもうれしい。子育てをがんばってほしい」と言っていました。また、十分くらいつとツバメが車庫に入ったり、出たりしていたので見てみると巣作りしていました。その家の人にインタビューすると、その人は「ツバメが来るといって言うから、来てくれてとてもうれしい。今年、元気に巣立って来年も来てほしい。」と言っていました。

わたしはツバメが減ってなくて、ほっとしました。うれしかったです。なぜこんなにたくさん来るのかなと考えてみました。すると、ここは田んぼが多いからかなと思いました。わたしの家にもツバメは来ていてとてもうれしいです。今は巣作りをしています。

ツバメ調査を通して、地域のみなさんはツバメに対して、とても深い愛情があると分かりました。また、ツバメが住むためには人の力も必要だと知りました。来年はもっとツバメが増えてほしいです。

地域の方々と大事なツバメ

能登町立松波小学校5年 小原 未郷

「ツバメ来てほしいわ」。「ツバメ来てくれんかな」という地域の人たちがたくさんいました。中には数人「フンがきたないから、ちょっと来てほしくないわ」という人もいましたが、ほとんどの人たちはツバメを大事にしていることが分かりました。

わたしたちは、ツバメ調査をしたとき、たくさん古巣があるところが6つもありました。古巣があるところに住んでいる人は、「前まではたくさん来ていたんだけど、事情があって戸を閉めてしまった。」というところがありました。

わたしたちの近所の人たちは、ツバメが来るのを望んでいる人が多いですが、ツバメが来なかったり、事情があり戸をしめてしまったりしている人が多かったです。

わたしは、成鳥がよく飛び回っているのを見て「ツバメを守りたい」と思いました。

ある家の方が、ツバメの古巣を残しているところがありました。その家の方は、ツバメを大切にしているんだなと思いました。

このツバメ調査で分かったことは、ツバメの数が少しずつ少なくなっているの、環境が少し悪くなっているのかなと思いました。

これからは、みんなで、環境の良い暮らしをしていきたいです。そのためには、ごみを減らすなどの身近なことからやっていきたいと思いました。

応募一覧

金沢市	味噌蔵町	3 4	輪島市	河原田	7	能美市	福岡	1
	馬場	2 7		町野	1 7	津幡町	条南	4 0
	森山町	4 4		門前西	8	内灘町	清湖	6
	小坂	9	珠洲市	宝立	1 2	志賀町	加茂	4
	額	1		飯田	3 3	宝達志水町	押水第一	3 8
	伏見台	7		若山	6		宝達	1 2
	西	1		西部	2		相見	9
七尾市	天神山	2 0	加賀市	三木	2	穴水町	向洋	2 3
	北星	1 1		庄	2	能登町	小木	6
小松市	第一	9 7	かほく市	高松	7 2		合計	松波
	蓮代寺	3		七塚	5 2	4 0校		7 3 9点
	向本折	2		外日角	3			
	日末	2 1	白山市	松任	3			
	中海	4 9		松陽	1			
東陵	6		蝶屋	1				